

本龍寺の歴史

西暦	年号	摘要
1174	承安 4	丈山小学校の西付近に念仏道場を開く
1468	応仁 2	浄土真宗の念仏道場となる
1556	弘治 2	落雷で焼失し、現在地(中本郷)に移転
1606	慶長11	本龍寺中興開山といわれる二休が道場主となる
1699	元禄12	入母屋造二階建・楼閣式の茶所を新築
1744	延亨 1	梵鐘・鐘楼を建造
1808	文化 5	都築弥厚翁が金300両を投じ山門を寄進
1870	明治 3	暴風で山門、倒壊
1902	明治35	大火災で本堂焼失。後、総檜造りで本堂を再建
1945	昭和20	三河大地震で本堂倒壊
1948	昭和23	旧本堂の材料と村民の手で本堂再建
1959	昭和34	伊勢湾台風で鐘楼が倒壊
1968	昭和43	梵鐘・鐘楼を再建
1984	昭和59	同朋会館・水屋を建設
1992	平成 4	表塀と西塀を再築
2015	平成27	本堂建設委員会発足



↑
和泉町の航空写真
(2016.04)



←
本龍寺の境内全景
(2016.04)



←
本龍寺の本堂正面

<<< 内陣修復業者紹介 >>>

若林佛具製作所

- ・創業：天保元年(1830年)
- ・所在地：京都市下京区七条通新町東入

新本堂の内陣は、基本的には既存の仏具を全て修復して利用します。
特に御本尊は、伝統工芸士の京仏師が手がけて下さることにしています。



あ・と・が・き

”本龍寺の歴史”
を掲載しました。
過去のことを振り返り、
将来に備えた本堂の建設
に向け、皆さまのご協力
をお願いします。
〈雅〉